COMINET
LIVE
Communication Network for Live
2006 夏 no. 37

株式会社
松井郁夫建築設計事務所
まちづくりデザイン室
165-0023
東京都中野区江原町1-46-12-102/203
TEL 03-3951-0703 FAX 03-5996-1370
URL:http://matsui-ikuo.jp
e-mail:ok@matsui-ikuo.jp

ドラゴンフルーツ・奈穂

ごあいさつ
みなさま梅雨時をいかがお過ごしでしょうか?
きれいなアジサイを見て
気分だけでもからっといきたいものです

画家・石井崇氏との出会い

千倉のワインバーで、たまたま隣に座ったのが石井崇さんとの出会いの始まりでした。
石井さんは有名な画家で、普段はスペインに住んでいます。
日本では館山の自力建設の家に過ごすという方です。
輝くような色彩とのびのびした自由な線が特徴の、おおらかでほのぼのした絵を描かれています。
5月の良く晴れた日に事務所にいらしてパエリアを作ってくれました。サラダとパンとチーズにワイン。
スペイン流の時間がゆっくりと流れました。以前にご紹介した自力建設の岩崎駿介さんの奥さんと同級生だったこともわかりました。
自力でつくる事を楽しむという共通点があるようです。

「那須の茶室」経過報告

那須高原の清々しい空気の中、お茶室が徐々に建ち上がってきました。緑道を抜けると林の中に数寄屋が凛として建っています。
住宅とはまた違った数寄屋の技術が、繊細な仕事になって、そこかしこに光っています。
檜の細い丸太が、艶めかしくさえ見えてきます。12年前に建てた別荘との相性も良く、渡り廊下が出来てくると、また御茶事の楽しさが増すことでしょう。

施工：山装

現在進行中

「日野の家」工事着工

施工：目時工務店

地鎮祭が終わりました。
下小屋には徳島ＴＳウッドの葉枯らし材が到着し、石川棟梁が急ピッチで刻んでいます。
えんじ色の徳島杉が石川棟梁の綺麗な仕事で組み上がる姿が楽しみです。

「吉祥寺の家」工事着工

施工：キューブワンハウジング

東京都の支援による「東京の木いえづくり」の第一号です。
多摩産材の杉を使います。
先日無事地鎮祭を終えました。
これから刻みにはいるところです。上棟は8月の予定で、建前見学会を行う予定です。

「浜田山の家Ⅱ」実施設計

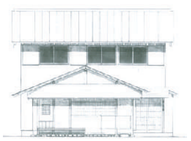
いよいよ実施設計にはいりました。ゆったりとした敷地に建つ和風住宅です。
「あたりまえの家」をつくって欲しいというご要望です。簡単なようで難しい「あたりまえ」を追及します。

「腰越の家」実施設計

実施設計がもうすぐ終り見積に入ります。
「木組の家」にほれ込まれた建主さんの意向が、色濃く反映されています。
希望された松材やケヤキの大黒柱も設計に組み込みました。どんな室内になるのか楽しみです。

「池尻の数奇屋」実施設計

茶道の稽古場を兼ね備えた数奇屋の住宅です。
裏千家のお師匠さんのご指導の元徐々にお茶室の内容が煮詰まりつつあります。
お茶の世界は広くて深いことを知りました。
「おもてなし」の心を大切につくりたいと思います。



国分寺の家Ⅱ　完成内覧会

DATA
敷地面積　222.55㎡
建築面積　64.15㎡
延床面積　110.97㎡
家族構成　夫婦＋子1人
施工　石川工務店
山　ＴＳウッド

大黒柱を中心に広々としたリビングになりました

リビング階段
吹き抜けの大きな窓から光が入ります

上：正面から見た全体の外観 ベランダを組み入れたせがい造りになっています。
大きく開いた窓が一階の奥まで冬の日差しを招き入れます。夏は南に長く伸びた軒先で直射をさえぎり、寒暖の差をコントロールする、温熱環境に優れた家です。

建主さんのご好意により完成内覧会を行いました。

総勢50名の方々に出来上がった家をじっくりと見ていただくことが出来、大盛況でした。

門型フレームの丈夫な架構に、典型的な「田の字型プラン」のモダンな家です。
真ん中にどっしりと７寸角の杉の大黒柱が立ち、家全体を引き締めています。

これから家を建てようと思っている方たちに、実際の空間に立ってもらい、木のぬくもりや風の通り方を感じて頂けて、とてもよかったと思います。

素材を提供してくれたＴＳウッド協同組合の和田さんも徳島から駆けつけてくれました。
100年を経た大黒柱や「こもれび」という床材の良さを米ぬか油を塗りながら説明してくれました。
まるで嫁に出した娘に会いに来るような気のかけようです。

工事に関った職人さんや、建主さんにかわいがられて末永く愛してもらえる家が出来たことをみなさまに感謝いたします。
ありがとうございました。　（一部撮影：奈良岡 忠）

「検見川の家」構造見学会２

DATA
敷地面積　220.27㎡
建築面積　98.91㎡
延床面積　139.21㎡
家族構成　夫婦＋子供１人
施工　持井工務店
山　天竜、福島材

2回目の構造見学会を開かせていただきました。
建て方見学会に続き、たくさんの方に見ていただくことが出来ました。せがい造りの構造と古材、松丸太の魅力が途中段階でもすばらしく魅力的です。
壁をつくる前の段階だったので、木組の家がどのようにつくられていくのかがよくわかり、これから新築をしようと思っていらっしゃる方には、伝統構法の醍醐味を堪能していただけたと思います。完成が待ち遠しい家です。